

ひゅ〜まん

秋田県北部男女共同参画センター

開館時間

平日 9:00~21:00

土日祝 9:00~17:00

休館日

木曜日・年末年始(12/29~1/3)

ハーモニーフェスタ Symphony

2022
シンフォニー
~みんなで奏でる男女共同参画の音色~

北部会場 開催レポート 後編

毎年6月の男女共同参画推進月間の最大のイベント、ハーモニーフェスタ。今年は、6月26日(日)北部男女共同参画センターと南部男女共同参画センターの開設20周年を記念し、大館市と横手市で同時開催しました。北部会場(バーリーズクラブ)で実施した、男女共同参画社会づくり表彰式、基調講演、パネルディスカッションを南部会場(松與会館)とオンラインで繋ぎ、2つの会場とオンライン参加者が男女共同参画について学びを深めました。

前号に引き続き後編として基調講演、パネルディスカッション等についてご紹介していきます。

基調講演

「農家のかあさんたちの挑戦」 陽気な母さんの店株式会社 代表取締役社長 石垣 一子 氏

結婚して48年、農家の嫁として過ごしてきた日々を少し振り返る時間にしたいと思います。当時、農家の嫁というと、働き手として求められていた時代、両親からもらえる少ないお小遣い(労働への対価として)をやりくりしていくのが良い嫁だと思ひ頑張っていました。お腹が痛くても薬も

買えないくらい生活は大変でしたが、せめて夫が会合や会議に出かけるときはお金を持たせてあげたい、自分が姑になった時次の世代に不自由なくお金をあげたい、そんな想いから、お小遣いを“給料”と呼ぶようになり「給料を払える農業経営」を目指すようになりました。



女性も男性と肩を並べて責任を持たなければならない！

家事全般を姑から嫁へ受け継ぐ「かまど譲り」を経て、農家の経営の大変さを実感。様々な勉強会へ足を運び、模索する日々が続く、少しでもお金になればと、昭和60年「中山そばの会」を立ち上げることになりました。農家の女性たちが表へ出ることへの反発もありつつ、夫や両親へ給料を払えたことが大きなやりがいになりました。

女性農業士の海外研修で行った先で、「日本の女性はズルい。男性の影も踏まないくらい後ろを歩く。男性の影に隠れて責任を持つ

ていない」と言われたことが良い意味で衝撃でした。男性と肩を並べて歩いていいんだ！これからは女性も責任を持たないといけないんだ！とワクワクしたのを覚えています。

一つ階段を上ると見える世界ちょっとだけ変わる、そこでまた目標を立てて一つ階段を上るというように進んで来て、給料が払える農家になるという強い信念のもと、誰にも文句を言われない農家の母さんを目指して、仲間と助けあいながら現在まで走ってきました。



紹介しきれない程、盛り沢山な内容で多くの方がエンパワメントされる講演となりました！

「自分らしくイキイキと過ごすために」

パネルディスカッションでは、現在大館に住んでいる3名の女性たちが登壇。コーディネーターの佐藤文枝氏（あきたF・F推進員）の進行により、若年女性の県外流出の問題について触れ、三者三様の生き方を掘り下げながら、ディスカッションしました。3名は103（ワンオースリー）というグループとしても活動しています。



秋田に戻ってくる準備ってある？

自分の常識と色んな常識を比べて体験して戻ってきて。

学生の頃は都会に出ることが当たり前だと思っていた。東京で英語を活かす様々な仕事をする中で、インドへ行く仕事がきっかけでYOGAに出会い資格を取得するまでになった。帰る場所はここしかないと感じ、地元に戻ってきて、自分に出来ることは何か考え、英語教室とYOGA道場、Voice lab0をスタート。そこに集う人たちが仲間となった。仙台 なの氏（103 Voice lab0 代表）



何か一つ武器なるものを持ってこよう！誰かと一緒にね♪

都会に憧れて仕方がなかった。やりたい夢（お芝居や、デザインを学ぶ）があり東京へ拠点を移す。結婚後、秋田で一人暮らしをする母親のことが気がかりでいた。関西人の夫の声掛けで戻る決意をし、家族みんなで秋田へ戻ってくることに。戻る決意をしてから、リンパマッサージの資格を取得したことが、今、大きく役立っている。大江 由布子 氏（サロン「へばりんぱ」代表）

ディスカッション後は3人揃って歌のパフォーマンスをしてくれました！

103（ワンオースリー）の名前の由来は「拠点の目の前が旧103号線だったから。自分の目の前の道から、世界へ羽ばたいていく、どこにでも繋がっていく。」という想いで名付けたそうです。

103のメンバー、佐藤文枝氏は現在FMラジオおおだてのパーソナリティーとしても大活躍。大館を元気にする女性たちです。

たくさんの経験をしてきて。いつでもウェルカムです☆

秋田を出ようと思ったことがないくらい秋田が好き。病気がちだった自分の身体について見つめ直す中で、秋田の空気や、土壌、支え合う仲間が自分の身体に合っていると感じている。年齢とともに、新しいことをするのが億劫になってしまうが、仙台さんのYOGA道場と出会い、勇気を出して未知の自分を見つけるチャレンジしている。小貫 寧子 氏（小貫自動車整備工場 事務員）



大切なのは「自分の意思で決定すること」

パネルディスカッションのあとは、2つの分科会がありました。1は能登祐子氏（能代市上町自治会長）、越前貞久氏（大館市御坂町内会長）による「女性の“参画”で自治会はどう変わる？」2は野口聡子氏（JICA東北 秋田県国際協力推進員）による「多様性のある社会について考えよう」講師の話に耳を傾けながら、課題解決に向けて考える時間となりました。

分科会1

自治会における女性活躍



分科会2

多様性のある社会





第2弾は9月17日（土）「多様性のある社会について考えよう」です。詳しくはホームページをご覧ください。

地域で男女共同参画を推進する人材を育成する事業がスタートしました。第1弾は小学校や地域の研修会で出前講座を担ってきた佐藤文枝氏（あきたF・F推進員）が講師を務めました。

地域の学校、団体等から、男女共同参画について説明をしてほしい、話をしてほしいと依頼された際にどのように伝えるかを、実際に小学生に伝えている資料をもとに説明していただきました。

佐藤氏は、小学6年生に向けて授業を行ったなかで、どういふ言葉が反応が良かったか、男女共同参画を自分事として考えてもらうヒントを伝えてくださいました。

子ども達に伝える中で、「人に迷惑をかけない生き方」を伝えるのではなく、迷惑をかけるのは当たり前であり、「助け合う気持ち」を育てて欲しいと語りました。

講座後半は、参加者同士で意見交換の時間を設けました。アンケートでは、「子ども向けと思って聞いていたが、大人が聞いても考えさせられる内容だった」「言葉のチョイス、話の組み立て方が分かりやすく勉強になった」「情報をアップデートする大切さを感じた」等の声がありました。

あきたF・F推進員からのおたより紹介

「入院…そして、 家庭生活から見えた男女共同参画」①

あきたF・F推進員 工藤 昭子

短期間の入院から見えてきた男女の働き方について考えてみた。

私が看護師に持っていたイメージは、女性で、患者のケアやお世話をする仕事だった。今は男性看護師も多く、働きぶりに目が留まった。

印象に残っているのは、夕食後に一人一人丁寧な言葉がけ「ごみ捨ててきますね」の言葉。些細な言葉かもしれないが、術後、日も浅く体を動かすことが難しい私は「すみません」と伝えた。

「お手伝いさせていただけの私たちの仕事ですから」と、患者に向き合い、懸命に働く姿に心を打たれた。

医療チーム、看護師チームの丁寧な回診と、患者の心に寄り添うチームワークの良さが、不安な心を和ませてくれた。

あいさつにはじまり、あいさつで終わる日々の中で、病院では男女のFFが成立していると実感し嬉しく思った。 ※

退院し家に帰ってみると、体力が回復していない身体での家事がネックになり、今までのように動けない自分との葛藤が始まった。

（つづく）

※F・F・ファイファイの頭文字。今回は平等の意味で使用しています。

あきたF・F推進員（あきた えふ・えふ すいしんいん）ってなあに？

地域での男女共同参画推進の中心的役割を担う人材として、秋田県が平成13年度に独自に設けた登録制度により、研修を経て認定された後に登録された方々のことです。令和4年4月現在で114人認定登録されています。

令和4年度 センター主催講座のお知らせ

●地域サポーター養成講座

「多様性のある社会について考えよう」

講師：鶴木 恵子氏（あきたF・F推進員）

日時：9月17日（土）13：30～15：30

場所：北部男女共同参画センター

●女性の管理職やリーダーを育成するための研修会

「自信がない女性ほどよいリーダーになれる」

講師：麓 幸子氏（作家・ジャーナリスト
元日経ウーマン編集長）

日時：10月2日（日）13：30～15：30

場所：鹿角市文化の交流館「コモッセ」

●団体・グループ等の活動支援のための研修会

「今、女性たちがおかれている現状を学ぶ」

講師：中鉢 美之氏（びーらぶ秋田 代表）

日時：10月15日（土）10：00～12：00

場所：北部男女共同参画センター

※最新の情報はホームページ及び、
Facebook等をご確認ください。

●令和4年度 地域の女性リーダー育成事業

地域の女性リーダー養成塾①

講師：能登 祐子氏（能代市上町自治会長）

越前 貞久氏（大館市御坂町内会長）

日時：9月24日（土）10：00～12：00

場所：能代市中央公民館

地域の女性リーダー養成塾②

講師：越前 貞久氏（大館市御坂町内会長）

日時：9月27日（火）13：30～15：00

場所：上小阿仁開発センター

女性リーダー交流会

日時：10月30日（日）10：00～12：00

場所：北秋田市民ふれあいプラザ コムコム

●男性の家事・育児と仕事との

両立を促進するためのセミナー

「今こそ考えたい！選ばれる企業になるための働き方
セミナー」

講師：中村 浩三氏（社会保険労務士）

日時：10月21日（金）13：00～16：00

場所：バーリーズクラブ



みてみて！ゆ～ちゅ～ぶ

秋田県では多様性に満ちた社会づくりに向けてYouTubeを使って動画を配信しています。テレビで流れているCMが5本。そして「喫茶ダイバーシティ」と題したミニドラマが配信されています。多様性やダイバーシティという言葉を目にすることはあっても、実際どういう課題があって、どう自分事としてとらえられるか考えるきっかけにしてみましょう。

「多様性 秋田」で検索

✿ハーモニープラザ相談室✿

☎相談専門ダイヤル 018-836-7846

月～土曜日（※土曜日は電話相談のみ）

午前10時～午後5時まで

相談室は秋田県中央男女共同参画センターにあります

～編集後記～

センター主催事業が各地で開催になります。今年は例年以上に、行政や関係機関と連携した企画が出来ていることに感謝いたします。コロナ禍で、感染拡大に気を付けながらの開催となりますが、是非足を運んでいただけたらと思います。（松坂）

●団体活動カレンダー発行中●

ホームページでいつでも確認することができます。

発行：秋田県北部男女共同参画センター
（通称：北部ハーモニープラザ）

北部男女共同参画センター

検索

〒017-0842 秋田県大館市字馬喰町48-1

☎0186-49-8552 FAX：0186-49-8589

E-mail：anged1@io.ocn.ne.jp